

議 事 要 旨

会議名	令和5年度 第4回福生市環境審議会	
日 時	令和6年2月16日（金）午後2時～3時	
場 所	もくせい会館 203 会議室	
出席者	委員等	上村委員、小倉委員、千葉委員、野村委員、畠瀬委員、古屋委員
	事務局	田村生活環境部長、岸野環境課長、坂本環境政策係係長、青島環境政策係主査、計画策定業務受託事業者（環境自治体会議環境政策研究所 小澤）
欠席者	池田委員、田村委員、山下委員、横田委員	
議 題	（1）第2次福生市環境基本計画（最終案）について	
公開・非公開の別	公開	
配布資料	<p>資料1 第2次福生市環境基本計画（最終案）</p> <p>資料2 第2次福生市環境基本計画（最終案）概要版</p> <p>資料3 （第2次福生市環境基本計画）資料編</p>	
会議内容	<p>（1）第2次福生市環境基本計画（最終案）について（事務局）</p> <p>資料1については、12月議会において市議会議員の皆さんに行った意見聴取、12月14日から1月12日まで行ったパブリックコメントともに意見の提出はなかったため、前回会議で確認していただいて以降、冒頭の市長挨拶の追加と体裁の調整等を行ったものになる。</p> <p>資料2概要版については、A4の8ページとスペースも限られていることから、資料1から必要と思われる事項等を抜粋し掲載している。1・2ページには福生市の環境の現状と課題を、「気候変動」「生物多様性」「資源循環」「生活環境」「環境学習」とそれぞれの分野について要点を箇条書きで列記している。3ページには、現行の計画より目標として掲げている「エコシティふっさ」実現のため、各分野の10年後のあるべき姿について掲載し、4・5ページでは行政の施策を体系的に掲載、6ページには市民や事業者の方に取り組んでいただきたいアクション（行動）についてそれぞれ掲載している。7ページには、現状と目標を数値化して記載している。</p> <p>なお、概要版については最終的に観音折りで作成するので、表紙と裏表紙にあたる7ページは資料のとおりで、表紙をめくると1・2ページが見開きで展開し、1・2ページの真ん中を更にめくると3ページから6ページが横一列で展開するイメージとなる。</p> <p>また、資料3として巻末に追加する「資料編」を作成・配布した。内</p>	

容は、計画策定の基礎資料とするため、令和4年度に実施した「環境に関する市民アンケート」の集計結果の抜粋と策定までの経過、本審議会の名簿等を掲載している。名簿の備考欄の肩書等については、改めて御確認いただきたい。

(委員)

資料1の17ページ、ワークショップの検討結果について、気候変動影響と思えないことが含まれているという意見を出したが、取り入れていただき感謝する。気候変動影響よりは、外来種や人の住み方が変わったことによる影響の方が大きいことが混在していたため意見させてもらった。

若干気になるのは、「マダニ、ヤマビルなどが侵入・定着し」という部分。多摩川の河川敷もイノシシの跡だらけで、マダニやヤマビルは増えそうだと感じる。確かに危険で気をつけなければならないことだが、これは大型の哺乳類が増えている影響で、福生市に関しては気候変動影響と言えない部分があり、表現が難しいと思っている。全国の気候変動影響の取りまとめには感染症媒介生物の増加は書かれているが、いままで積雪があつて大型哺乳類が少なかったところにシカなどが増えていることが要因。ヤマビルは冷涼なところでも喰いつかれるので、温暖化影響という微妙かもしれない。リスクを検討しなければならない状況であることは確かだと思う。

(委員)

これに関連して、市民アンケート結果でもあつたが、あくまでアンケートや庁内ワークショップの結果ということで、気候変動の影響なのかという点は分からないけれど出てきている、ということだろう。マダニは確実に増えていて、リスクは高まっている。影響評価に関しても、客観性は求めないということだろう。

(事務局)

あくまで内部でこのように評価したというものだが、一般の方が見た時に誤解があつてはならない。

(会長)

表現を変えたとしたら、どのようになるか。

(委員)

注釈をつけるなどか。

(事務局)

ワークショップ結果の直下にも注釈があると、誤解がなくて良いかと思う。見え方を考えて検討したい。

(委員)

資料2の6ページ、アクションリストについて。循環型社会を意識したアクションは良いことが書いてある。とても大変なことではあるが、

社会が変わっていくことが大切なことなので、ぜひ力を入れてほしい。

また、**資料1**の64・65ページ、気候変動の数値目標について。BAUとあるが、これが何か詳しく説明して欲しい。電気は把握しやすいが、車を運転してガソリンをどれだけ節約するかという内容はほぼ盛り込まれていない。福生市自身のデータに基づく要素が少なかったと思う。

(事業者)

温室効果ガス排出量の目標

東京都62市区町村協働事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による自治体別排出量の公表値のうち、令和元年度参考値（福生市人口に対する基地内人口比0.83を乗じた値）を基準として、国の温暖化対策推進計画における部門別削減率を乗じて、福生市における排出量の目標値を計算

再生可能エネルギー（必要）導入量

算出した温室効果ガス排出量の目標を達成するためには、使用するエネルギーを再生可能エネルギーに代替しなければならないという視点に基づき設定

- ①人口推計・就業者数予測から、現状以上の対策を行わない場合の令和12年における温室効果ガス排出量（BAU〔現状趨勢ケース〕排出量）を求める。
- ②エネルギーミックスの変化による電力の排出係数改善（全電源平均の電力排出係数を0.25kg-CO₂/kWh）の効果を見込んだ排出量を推計（令和元年比で56.2%改善）する。
- ③①②で算出したものに電力以外の排出量を加味し、総排出量を算出→目標まで20%の不足が考えられるため、各部門別（産業・業務・家庭・運輸）におけるエネルギーの効率化で10%削減、残り10%を再生可能エネルギーでまかなうものとした。

(委員)

概要が分かれば理解しやすいので、付け加えていただけると良い。

(委員)

資料2、生物多様性の課題の最後の文章が、「人間の生活に害を」となっているのが気になる。影響を受けるのは人間だけではない。自然環境、あるいは生物多様性といった言葉が加えられると良い。また、気候変動の指標については、福生市がいくら頑張っても、それが反映されないのは残念。

(事業者)

再生可能エネルギーの導入量、適応行動の実施率については、市の施策の成果が反映される。

(委員)

今度、福生三中の生徒に対して、地域の人々に学ぶ講座として話をす

る予定になっている。2019 年台風 19 号があったことから、防災面の話をしてきた。その原因として地球温暖化があることを中学生がどう考えているか聞いてみたが、何も返ってこなかった。国連事務局長が「地球沸騰化」と言ったように、今の中学生が 80 歳になるころ 5.7 度も上昇する。このような話を環境審議会委員としても伝えていかなければならない。地球カレンダーでは、産業革命は 12 月 31 日 23 時 59 分 58 秒になる。あと 2 秒で人類が滅亡するようなことが起こっている。中学生にも温暖化はということか、防ぐために勉強して欲しいと伝えたい。

(委員)

小学校の理科の授業で扱うことになっているが、本当にさらっと扱っている。きちんと理解はできていないだろう。中学校でも扱うことにはなっていると思う。

(委員)

いろいろ大変なことが起きているが、この先予防するために学んで対応していかななくてはならないと、子どもたちに伝えることは大切なこと。

(会長)

自分たちの問題に関わるのだということと理解してほしい。少しでも行動すれば、自分たちにも恩恵がある。

(委員)

環境政策課の取組で、先生に向けた講座があったと思うがどうか。

(事務局)

自然環境が中心で温暖化までは扱っていない。中学生でも学習指導要領の中では理科や社会の時間で温暖化やエネルギーを扱うようだが、どこまでできているかは把握できていない。

(委員)

審議会委員である自分が、積極的に話をしていくことが大事だと思っている。

(会長)

資料 1の 27 ページ、環境基準達成率のうち地下水が 97.4%となっているが。

(事務局)

市内 10 箇所 15 項目の調査をしている。井戸の調査項目のうち、環境基準が超過しているものがある。主には大腸菌が検出されているが、市の施策で解消することが難しい項目である。

(会長)

概要版でも環境基準達成率が出ているが、目標値が現状値と変わらない項目もあるがどうか。

(事務局)

航空機騒音については m² か所で測定をしている。1 箇所は市役所屋

上で測定しているが、基準が市街地ためあまいのに対して、もう一箇所は滑走路直下で測定しているが、市街地ではないため逆位基準が厳しく、恒常的に基準の達成が難しい状況にある。結果、達成率も50%にせざるを得ない。

(会長)

少しでも改善しないといけないのではないかと感じる。

(事務局)

国に対して要請を行ってはいるが、数字になかなか結びつかない。

(委員)

資料1の61ページ、ポイントシステムは動機付けとして良い考え方だと思う。市民が自分の町の環境施策に関心を持って取り組むことは理想だが、生活がある中で優先順位が上がらない。ポイントシステムをつくるにあたっては、他の自治体などの事例があるのか、ゼロベースで考えていくのか。

(事務局)

計画改定にあたり提言を作成いただいた環境基本計画市民会議の中でも発言があったこと、現行計画を策定した20年前にも地域通貨で還元するというアイデアもあったが、当時はハードルが高かく導入に至らなかった。現在では導入事例も増えているが、色々と調べてみるとポイントだけが貯まっていて、うまく還元できていない事例も多いことが分かった。事例を検証するとともに福生の特性を踏まえ、より良い方法を生み出せるよう検討していく。

(会長)

あとは細かい部分になるので、事務局で再確認していただくとして、最終案を審議会として了承するというところでよろしいか。

→全員承認

(2) その他

(事務局)

3月4日の庁内会議に付議して計画を決定、3月末日の納品を予定している。先述の市民会議で令和4年度から計10回の会議等を通じて市民提言をいただいている。計画が完成したあかつきには、市民会議における議論の経過・経緯を大きく引き伸ばして市役所等に掲示し、計画が変わったこと、計画自体の存在を改めて知っていただくことに注力したい。4月以降になろうかと思うが、取り組んでいきたい。